

どうしんまなbell、GoGoまなbellへのご意見、ご要望をお寄せください。

E-mail doshin-kyoiku@hokkaido-np.co.jp

小学校の朝読書で活用されているのが、道新こども新聞「まなぶん」のウェブ版「まなぶんデジタル」です。こども新聞の記事に加え、週4回、北海道のニュースを配信。豊富なコンテンツで児童が一人でどんどん読み進められます！

まなbellで見られます

すべての漢字にふりがな付き！

朝読書にまなぶんデジタル

社会の出来事に触れる習慣づくり 継続して読み、読解力を育む

地域の出来事や経済、スポーツ、文化などのニュースを週4回配信。文字数が少ないので短時間で読めます

「まなぶん」のおすすめ記事。小学生記者が取材したマチの話題や、道内の小学校なども紹介。長い文章を読む練習になります



まなぶんデジタル by 北海道新聞

● ニュース

- 函館港に巨大クルーズ船
- チューリップ70万本さいたさいた・湧別
- スケボー練習場札幌ドームに

● おすすめ

- 夕張市・ゆうばり小児童会募金活動14年
- 温暖化 すみかの氷とける
- 子どもを守る人形

● 動画

- フウセンウオ

● 読む・知る

- バックナンバーが読めます。検索機能で記事を探せます
- みんなの自由研究
- 自然観察記録コンクール

水族館や動物園の生きもの、料理の作り方などを紹介します

まなぶんデジタル編集チームより
まなぶんデジタルには、子どもたちの関心を引く記事がたくさんあります。「ニュース」は短い時間に興味を持って読んでもらえる話題をピックアップ。クラス全員で同じ記事を読み、感想や意見の違いを共有するのもおすすめです！

SDGsをテーマに、私たちの生活や環境を良くするために工夫をしている、北海道の会社や団体の取り組みを紹介します。



「ミンタラ」はアイヌ語で「広場」。アイヌ民族が歴史や文化を紹介するコーナーです。四季の暮らしや人物伝、英雄の物語をやさしい文章やイラストで伝えます。

活用例

札幌市立八軒西小学校

朝読書にまなぶんデジタル (まなデジ) を活用!

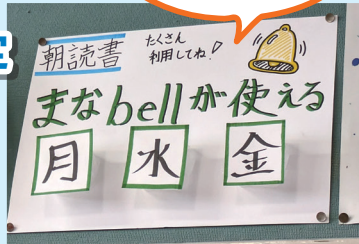
2023年度から、3～6年生がクラスごとに使用する曜日を決め、朝読書でまなbellを使っています。

3年2組

朝読書で使う日を設定

児童は登校したらタブレットを開き、先生からの連絡事項を確認した後、まなbellを自由に使います。

まなbellを使う曜日が一目でわかる!



黒板上の掲示

いつもまなデジの動物の動画などを見ています。かわいいからもっと見たいです! 自宅でお父さんのパソコンでも見えています。



加藤 桜子さん



まなデジはここから!

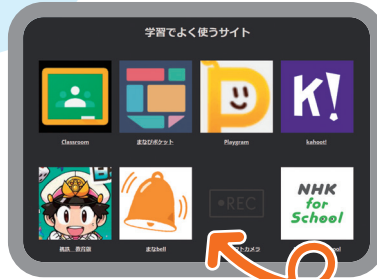


朝読書の時間は短いですが、まなbellやまなデジに触れることで、自分が住む地域への興味・関心が広がっています。まなデジは、3年生の児童には、主に生き物や料理などの記事が人気。ふりがな付きで低学年でも読みやすく、漢字が苦手な児童も抵抗を感じにくくなっているようです。活字が苦手な児童は、写真や動画を入り口として記事に触れる機会にもなっています。



3年2組担任(ICT推進担当) うめまよしゆみ 鵜沼吉史 先生

鵜沼先生がGoogleサイトを使って作成した3年2組専用のトップページ画面



まなbellのアイコンも!

6年1組

児童が思い思いに閲覧

学年によって興味の対象はさまざま。高学年のクラスでは、まなbellの「今日の朝刊1面」「おすすめニュース」を見た後に、まなデジを見る児童もいます。どの児童も思い思いにまなデジ内の記事や動画を見ていました。

まなデジの「ニュース」は、短くまとまっていて、とても読みやすいです。「おすすめ」では、特に「こども記者見ぶん録」のコーナーが好きです。まなデジやまなbellの記事を読み始めてから、新聞に興味を持つように。夏休みの自由研究で、気になる新聞記事を選び感想を書くことにチャレンジしました。



中川 結愛さん



6年1組担任 宮崎世司 先生

読みたい記事を自由に読ませています。児童には日ごろからニュースに触れて、世の中の出来事を知ってほしいと考えています。

「新聞を作る」機能がより使いやすくなりました

お知らせ



①見出しの文字数が増えました!

例) テンプレート1、2、3 主見出しの文字数9文字→14文字に

②写真のトリミング機能が充実しました!

写真の縦と横の比率変更が可能になり、希望の比率で調整できます

